

第 8 回 東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会  
会議の進め方について

平成 29 年 11 月 14 日（火）

東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画  
策定検討委員会事務局

## 1. はじめに

前回、第 7 回の委員会においては、幼保跡地エリアにおける取組みについて議論し、地域住民が利用できる多目的広場や多目的駐車場の整備、新川の活用などの意見を取りまとめたところです。

また、JAEA の藤田委員より、J-PARC への進入路、真砂寮など JAEA が保有する土地の現状や今後の見通しについて御報告をいただき、現時点においては、先を見通すことは難しく、それらの活用には相当の時間を必要とすることが把握できました。

そして、藤田委員からの報告を踏まえ、第 6 回の委員会において決定した「阿漕ヶ浦公園～村松晴嵐の碑～村松海岸までを“軸”とする」ことについて、再度、協議を行う必要があるとの判断に至り、今回、第 8 回の委員会は「村松周辺エリア」の議論に戻ることになりました。

なお、「どのような計画をイメージし、どのように議論を進めていくのか確認したい」との御意見も頂戴していることから、今回の委員会においては、事務局がイメージする計画体系について、これまで議論を進めてきた「村松周辺エリア」と「幼保跡地エリア」を例に提示させていただき、ご意見を頂戴したいと考えています。

## 2 議 事

### （１）村松周辺エリアの“軸”の考え方について

前述のとおり、J-PARC への進入路、真砂寮など JAEA が保有する土地について、現時点においては、先を見通すことは難しく、それらの活用には相当の時間を必要とすることが分かりました。こうした状況を踏まえ、次の点について御協議いただきます。

①「阿漕ヶ浦公園～村松晴嵐の碑～村松海岸」までの“軸”は維持することにするか、改めて別に設定するか。

②“軸”を再設定する場合、どこに“軸”を設定するか。

### （２）東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画の体系（イメージ）について

現在、平成 30 年 3 月末の中間報告を目指し、各エリアについて委員に御議論をいただきながら、並行して、事務局において各エリア別の方針（方向性）を整理しているところです（資料 2 を参照）。

各エリア別の方針（方向性）を立てた上で、平成 30 年度以降、各エリアにおける具体的な取組みを議論していただくことを予定しておりますが、「どのような計画をイメージし、どのように議論を進めていくのか確認したい」との御意見もあることから、今回、村松周辺エリアと幼保跡地エリアを例に、計画の体系イメージを作成しました（資料 3-1・資料 3-2 を参照）ので、認識を共有させていただくとともに、御意見を頂戴したいと考えています。